

まんのう町教育委員会だより

平成29年【2017】

6月1日 発行

Vol.1

Contents

P.2 発刊に当たって

P.3 まんのうの教育
教育委員会を知っていますか？

P.4-5 園・学校ウォッチング
満濃中学校・琴南こども園

P.6 ホットニュース

P.7 関係機関からのお知らせ

爽風

そうふう

子どもの健やかな成長を願って

平和への祈り

5月10日(水)～13日(土)

満濃中学校の3年生が、沖縄へ修学旅行に行きました
(4ページに関連記事)



町内のこども園、小・中学校では、「自立へ向かう教育」を推進しています



1. 豊かな「つながり」を大切にする
2. 子ども一人ひとりの心に寄り添う
3. 子ども主体の保育や授業を行う
4. 学校・家庭・地域みんなで子どもを育てる

思い合い

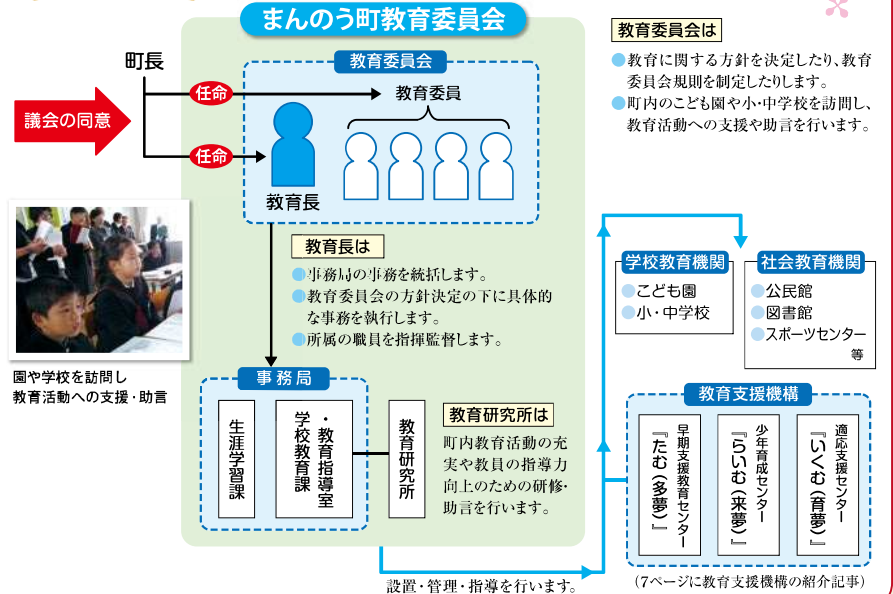
平成29年度
まんのう町学校教育
実践方針
より

4つの重点 まんのうの教育



分からないことを出し合いながらともに学ぶ

教育委員会を知っていますか？



教育委員会だより

そう ふう 「爽風」の発刊に当たって

まんのう町教育委員会 教育長 三原 一夫



「爽風」と命名

教育広報誌「爽風」を発刊することになりました。「爽風」の「爽」は、すがすがしいようすを表しています。まんのう町内に爽やかですすがすがしい風を吹かせたいという思いをふくらませながら、この広報誌を「爽風」と命名しました。ここから発信する情報は、教育委員会の教育の目標、国の教育動向、こども園や小・中学校の特色のある教育活動、部活動や対外試合の結果、子どもの作品や善行、通学合宿や公民館活動等、幅広く取り上げていきます。

「爽風の町」のイメージ

爽やかなすがすがしい風が吹く町、「爽風の町」とはどのような町をイメージすればよいのでしょうか。今の時代、想像を超えたITの進歩による人と人の温かな関係性の希薄化が問われております。そこで、人間と人間のふれあいを大切にした爽やかで温かな繋がりをキーワードにしました。

「温やかで温かな繋がり」を核に

そのキーワードは、「爽やかで温かな繋がり」のある町だと考えました。学校と家庭、地域と学校や行政、公民館に集う地域の人々、学校で学ぶ子ども一人ひとりと教師等の爽やかで温かい繋がりをイメージしました。この「爽やかで温かな繋がり」は、形式的に繋がっているという意味ではありません。お互いが温かな心と心で繋がっており、相手を心から尊重し、大切にしているということでもあります。そんな「温かな繋がり」のある町をみんなで創造していきたいという思いをいっばいにして、そんなテーマに沿った内容を発信していきたいと思っています。

「温かな繋がり」その具体

子どもたちのいいことも悪いことも、気がついた大人が、自他の区別なく、ことばをかけて勇気づける。そういう大人の働きかけにも、子どもたちが、素直に自然に従い、町中が支え合って子育てが成立している、そんな爽やかな風がまんのうの里に吹くように…。



春のおいを感じながら、近くのレンゲ畑で思いっきり体を動かす子どもたち
高篠こども園

どもたちに関心を持ていただき、この子どもにも心から注意ができ、よいことはみんなで褒めてあげたい。そんな雰囲気が増えているような教育の町づくりに寄与するように発信して参ります。水と緑の豊かな、そして、爽やかな風の吹いているこのふるさとに、大勢の人々が集まって住みたくなるようなまんのうの町づくりを求めています。ご支援よろしく申し上げます。



風薫る五月。
約十年間続いている
沖縄への旅は、今回も
生徒たちにさまざまな
出会いと経験を積
ませてくれました。

亜熱帯の自然

真っ青な空と海に包まれた緑の島、沖縄は、すでに夏本番の日差しと暑さでした。選択型の体験学習では、多くの生徒が紺碧の海でマリンスポーツを楽しみました。

琉球文化

沖縄には、琉球王国の時代から受け継がれている独特の文化があります。世界文化遺産に登録されている首里城では、琉球王朝時代に思いを巡らせ、読谷（よみたん）村での民泊では、紅型（びんがた）などの民族衣装を着させていたいたり、三線（さんしん）を弾かせていただいたり、ゴージャスなブルーなどの沖縄料理をご馳走になったりして貴重な体験をしました。そして、何よりも沖縄に住む方からいろいろなお話を拝聴できたことは、沖縄文化に触れる貴重な機会となりました。



読谷村での民泊



ひめゆりの塔で

平和学習

三年生が何よりも力点をおいて取り組んできたのが平和学習です。沖縄には、戦後七十二年を経た現在もなお、各地に多くの戦争の爪痕が遺されています。

ひめゆりの塔の前では、平和集会を開いて、黙祷、献花の後、その時のために練習してきた「別れの曲（うた）」を三年生全員で合唱しました。

ひめゆり学徒隊の少女たちが卒業式で歌うはずだったこの曲は、現在では、彼女たちの慰霊の歌として知られています。

また、沖縄戦で尊い命を落とした多くの人名が出身地別に刻まれた「平和の礎（いしじ）」には、外国人の名前も多く刻まれているのが印象的でした。

さらに、「語り部」さんが語る終戦当時の苦しく悲しい体験談は、多くのガマ（沖縄各地に残る壕）で展開された悲劇を知る貴重な時間となりました。翌日には、学級毎に分かれてガマを見学しました。

3泊4日の
修学旅行

平和学習の集大成

～ いちやりば、ちよーで～（出会えば、みんな兄弟）～

満濃中学校



美ら海水族館の見学

ガマの中で、多くの住民が、本土から派遣された日本兵と米軍に見つからないよう息を潜めて生活していたこと、さらには、捕虜となることを恐れて集団自決をした人も多くいたことを思うと、恐怖に胸が苦しくなりました。一年生の二月には広島を訪れ、世界で「つじかない被爆地（広島）」と「長崎」が世界に発信する「非核への誓い」の意味を考えました。戦争の始まりは、ある意味簡単なのに、戦争を終わらせることはとても大変だということに、改めて気がかれます。

今回の修学旅行では、事前に沖縄の歴史や沖縄戦などを学習し、平和の尊さについて考えました。それらの学習の集大成がこの修学旅行です。今回の修学旅行や平和学習の成果は、今後の学校生活の中で、また将来の生活の中で、彼らが「自ら考え、正しく判断し、自ら行動する」ことを通じて試されていくものと思います。

価値ある体験活動を通して

満濃中学校では、修学旅行をはじめとする価値ある体験活動を各学年で実施し、生徒が主体的に取り組み、将来の自立・自給に向けていけるよう教育活動を充実させています。



昨年度末の奉仕作業で保護者の方に植えていただいた芝生が青々と色づき、園庭が眩しく輝いています。

新年度がスタートして早や2か月。子どもたちは毎日芝生の上で「ふかふかしてあったかいなあ。芝生って...気持ちいいなあ。」と大喜び。

琴南こども園では、今年度も「つながり」を大切にした琴南らしい教育・保育を展開していきたいと考えています。

子どもたちが夢中になって主体的に遊びを展開できるよう、「らんらん広場」や「らんらんテラス」をさらに充実させ、子どもたちと共に様々な遊びを楽しんでいきたいと思っています。

子どもたちがいろいろな体験を重ねながら、自分たちで遊びを考え展開していけるように、職員一同、子どもたちの「遊び込む」姿と向き合い、一人ひとりと丁寧にかかわっていきます。

つなげよう! つながるよ!

琴南こども園



「ケースに入れな
いかんよ。」

だんごむし探し

「土も落ち葉もな!」

入園式を終えてホッとした雰囲気、漂う園庭...名札やカラー帽子の色が変わることは、子どもたちにとって意味のあることです。

ひとつ大きくなった自分を誇らしく感じながら園庭で遊ぶ姿からは、異年齢での自然なかわりが見られます。「だんごむしはお花の下にゆ〜けおるぞ。」

「ほー!」

耳を澄ますと、こんな会話が聞こえてきました。ちよっとだけ先輩の3歳児が2歳児の子どもに教えてあげているのです。日々の確かなつながりが息づいているのを実感しています。

発掘調査隊 修了児の思いを受け継いで



3月まで一緒に遊んだ憧れの白組さんが毎日やってきた砂場の発掘調査。長い間埋まっていた砂場の枠を偶然見つけて以来、毎日毎日掘っていたのですが、志半ばにしてタイムリミットになってしまいました。

「いまま終わりにしてしまつのは残念...」職員がそんな思いを知ったが知らず、これこれ...前の白組さんのや...」

ついに、4歳児が発掘調査の跡を発見。並大抵ではできないことを感じながらも、修了児の発掘調査を何とか自分たちの手で引き継いでいこうとしている子どもたち。

固くなった砂をとすれば掘りやすくなるのか、どうやったら効率よく掘っていけるのか...子どもたちから湧き上ってくる思いを受け止めながら、しっかりと支えていくことが職員間で話合いました。



関係機関からのお知らせ

まんのう町国際交流協会から

まんのう町国際交流協会では、町内のこども園児や小・中学生を対象に、英語キャラバン隊や地球教室、シンガポール海外派遣などの事業をしています。事業においては、異文化に触れて満足するだけでなく、地域を国際化できる人材として成長して欲しいという思いを持ってカリキュラムを組んでいます。

まんのう町は小学校全学年で外国語活動を実施するなど、英語教育にも力を入れていますので、来る東京オリンピックでは、おもてなしなどで活躍する子どもたちが出てきてくれることを期待しています。「地球的視野に立って地域で活動する」人材の育成こそ、国際交流事業が目指している目標です。

これから毎号で協会の活動の様子をお知らせしていきますので、こんなイベントがあったらいいなあというご要望がありましたら、教育委員会(73-0108)または協会事務局(75-0200)までご連絡下さい。

ネイティブの先生と英語で遊ぼう♪



まんのう町スクールソーシャルワーカー(SSWer)から

スクールソーシャルワーカー!?

みなさんの生活をサポートするために学校で働いています。子どもや家庭、学校のことなど、ちょっとした気になっていることがありましたら、一人で抱え込まずにぜひご利用ください。お待ちしております。



藤澤 茜さん



武川 咲子さん

～こんな活動をしています～

◆ 個別相談・家庭訪問

子どもやご家族の悩みやお話を直接聴かせていただき、その思いを実現するために一緒に考えたり、行動したりします。その際、個別相談する場所は、学校、家庭もしくはその他の会える場所で調整いたします。

◆ 学校等訪問

学校を定期的に訪問し、子どもの学校生活の支援を行います。その際、授業等の見学、グループワーク等の活動の実施、学校と家庭の関係調整をいたします。また、学校の先生方の相談にも応じます。

◆ 関係機関等へ同行、連絡調整

地域の社会福祉サービス等の情報提供や説明を行います。また、必要に応じて、社会福祉サービスの窓口や医療機関等への同行、関係機関との連絡調整を行います。

まんのう町教育支援機構から

◆ たむ ☎ 0877-75-4022
(受付時間：平日 9:00～17:00)

先生や友だちと
うまく会話が
できない



友だちと
よくトラブルを
起こす



視線が
合わない

落ち着き
がない

教育支援機構では、子どもや保護者、教員の様々な悩みと一緒に考え、改善に向けた取り組みを支援します。
一人で悩まず、気軽にご相談ください。

◆ らいむ ☎ 0877-75-4032
(受付時間：平日 9:00～16:00)



いじめ
かも…

◆ いくむ ☎ 090-5272-9362
(受付時間：平日 9:00～15:00)



行きたくても
行けない

エネルギー
が湧かない



ホッとニュース



園庭を散策「あっ、いた!!」
四条こども園

各校・園で 入学式、入園式

4月6・7日には、各こども園と満濃中学校で、4月10日には6つの小学校で、それぞれ入園式、入学式が行われました。
今年度の新入園児は126名、新入生は、小学校165名、中学校147名です。



4月10日 琴南小

ヘキサスロンで 体力づくり



エアロケットを使って投げる動作を練習 仲南小

まんのう町教育委員会では「子ども未来夢基金活用事業」の一つとして、平成27年度から小学校1～3年生を対象に、ミスのヘキサスロンを使用した体力向上プログラムを実施しています。また、昨年度からは4年生の体育の授業の中で、ミスの指導者が教師の技術指導を支援するプログラムも加わりました。
今年度も、各小学校においてこれらの取組が始まっています。



園外保育でしばさくら公園へ
「どんなにおいがするかな?」
仲南こども園

おいしい給食「いただきます」
今年度も、まんのう町のおいしい給食が始まりました。各校・園の調理場で作られたできたて、ほかほかの給食を、子どもたちはとても楽しみにしています。
これまで教育の基本は「知育、徳育、体育」と言われてきましたが、近年、これら三育の土台になるものとして「食育」の重要性が指摘されています。
子どもたちが健康で豊かな食生活を送れるようにしたいものです。

読書活動推進の取組で文部科学大臣表彰

満濃中学校では、教科指導や委員会活動、町立図書館との連携をとおして、本に親しみ、本を楽しむ、本を活用できる生徒の育成に取り組み、平成27年度には、その研究成果を広く香川県内の中学校図書館研究部会の先生方に公開しました。
この度、その研究成果が認められ、文部科学大臣表彰を受けました。



1年生も
上手に配膳
長炭小

全国学力・学習状況調査を 実施しました

4月18日、全国で一斉に全国学力・学習状況調査が実施されました。
この調査は、文部科学省が平成19年度から、小6と中3の児童・生徒を対象に、全国的な学力や学習状況を把握・分析し、教育施策や授業改善に生かすために実施しているものです。
この日まんのう町でも、153名の小学6年生と155名の中学3年生が参加しました。

そうや！

両方から掘っていいこう。

スコップが

ぶつかったら

完成やな！

志半ばにして園を巣立っ
た白組さんの思いを受
け継いで、発掘調査に没
頭する子どもたち

琴南こども園にて
(5ページに関連記事)

編集後記

小学校は2020年度、中学校は2021年度から全面実施される次期学習指導要領が、3月31日に告示されました。

これからの社会は、ますます国際化、情報化が進み、今ある仕事の多くが人工知能に取って代わられるかもしれないなど、予測不能と言われています。このような社会を、子どもたちはたくましく生き抜いていかなければなりません。

そのためには「子どもたちにどのような力をつけていかなければならないのか」という視点で改訂されたのが、次期学習指導要領だと言われています。

まんのう町では、このような教育の動向を見据え、子どもたちが自分から進んで対象にかかわり、仲間と協働しながら自らの力で課題を解決していける力を育んでいくことができるよう、各こども園、小・中学校が一貫した考えのもと、教育を行っています。

これからの学校教育は、これまで以上に地域の力を必要としています。この教育委員会だより『爽風』が今後、地域と学校、そして教育委員会をつなぐ一助になっていければと思います。

特集

地域みんなで
子どもを育てる

※各小学校区で行われて
いる通学合宿の取り組
みを紹介します

園・学校ウォッチング

- ・満濃南小学校
- ・満濃南こども園

新連載

シリーズ
子育てを考える

次号(8月1日発行)予告

平成29年【2017】6月1日発行

Vol.1

まんのう町教育委員会だより

爽風

発行責任者：まんのう町教育委員会

〒766-8503 香川県仲多度郡まんのう町吉野下430番地

TEL (0877) 73-0108 FAX (0877) 73-0113